

MYOKO SKOOL vol.6

敷地理 身体と声のレゾナンス

／表現を取り巻く人たちのためのアート・キャンプ 見る、語る、創る



▶応募について：

【参加対象者】

- ・年齢、国籍不問（ただしワークショップは日本語で実施）。
- ・アーティスト（ジャンル不問）あるいはアーティストを目指す方、表現が好きの方、アートを支えたい方。
- ・キュレーション、プロデュース、編集、翻訳など、広義の表現に関わる方。（こんな方にオススメ）
- ・同時代の問題について、他の参加者との交流を通じて自分の考え、表現を深めたい。
- ・夏休みを利用して、普段とは全く違う環境で表現・芸術について考えたい。
- ・自身と芸術と関わりやキャリアについて考えたい。
- ・これから企画や事業を起こす仲間や専門家と出会いたい。

【定員】10名程度（選考あり。全日参加できる方を優先。）

【応募方法】応募フォーム：

QRコードリンク先のフォームより必要事項に記入の上、お申し込みください。



【選考方法】

一次審査：提出書類に基づく審査

二次審査：応募者多数により面接が必要と判断した場合のみ行います。

【選考結果】

2023年7月28日（金）までに一次審査の結果と二次審査の有無をメールにて通知。

【応募締切】

2023年7月21日（金）24時 必着

【参加料】

1. 全日参加（3日間通し）

参加費：一般7,000円、大学生以下3,000円

2. 単日参加

参加費：1日：一般3,000円、大学生以下1,500円

(*) 接触の解剖学

触覚は、私たちが最初に発達させた感覚であり、神経系に直結し、コミュニケーションのための最も効果的なメカニズムです。

私たちの主要な感覚器官である皮膚は、五感の中で最も大きく、胎内で最初に発達し、私たちの状態、動き、好き嫌いに関する豊富な情報を持っています。

触れることは深く満足させるものであると同時に、深く恐怖を与えるものでもあります。私たちの多くは、身体と動きの関係において生得的な要素である触れることとの自然な関係を持っています。

そして触覚は政治的、社会的な問題も含んでいます。

感覚器官からみる接触、皮膚の機能、痛みと健康的な感覚の境界線、接触の政治性について取り上げる予定です。

ライティング、ボディワーク、コンタクト・インプロヴィゼーション、そして即興のスコアとその内容に基づいたグループでの探求を通して、触覚の解剖学を探求します。

▶日程：

ワークショップ（三日間）

2023年8月24日（木）、8月25日（金）、8月26日（土）

会場：妙高市文化ホール 大ホール舞台

講師：敷地理

▼8月24日（木）

10:00-13:00 レクチャー1 イントロダクション・レクチャー

14:00-17:00 レクチャー2 接触の解剖学* -1

19:00-20:30 レクチャー3 オンライン・トーク（配信予定。登壇者：敷地理、越智雄磨）

▼8月25日（金）

10:00-13:00 レクチャー4 接触の解剖学* -2

14:00-17:00 レクチャー5 プレゼンテーションの準備時間①と Walk&Talk

▼8月26日（土）

10:00-13:00 レクチャー6 プレゼンテーションの準備時間②とフィードバック WS

14:00-17:00 プレゼンテーション+フィードバック